

平成 24 年度事業報告書

I. 事業の概要

本財団の設立目的に添って平成 24 年度も、細胞科学分野における研究助成 10 件、国内若手研究者の育成助成として国外への留学 4 件、国際交流助成として国際学会等への研究者招聘および海外派遣 6 件を実施した。

平成 25 年度の各種助成のために、それぞれの募集細目を検討・決定し募集を行った結果、研究助成 52 件、育成助成 6 件、国際交流助成 6 件の応募があった。これらについて、選考委員会による厳正なる審査を行い、平成 25 年度助成対象者を選出した。

また、平成 22 年度各種助成金贈呈者の研究成果として、研究助成報告、育成助成報告および国際交流助成報告等をまとめ、助成研究報告集を発刊した。

II. 事業の内容

1. 平成 24 年度助成金の交付

平成 24 年度各種助成については、研究助成 10 件、育成助成 5 件および国際交流助成 6 件が平成 24 年 3 月 2 日開催の第 49 回理事会において議決承認された後、育成助成 1 件の辞退があったため理事長に答申し、研究助成 10 件（1 件 300 万円、計 3,000 万円）、育成助成 4 件（1 件 120 万円、総額 480 万円）および国際交流助成 6 件（1 件 40～50 万円、総額 279 万円）それぞれに助成金を交付した。

〔資料 1〕

2. 平成 24 年度研究助成金贈呈式開催

平成 24 年度研究助成受領者を対象に研究助成金贈呈式を次のとおり開催した。

開催日時：平成 24 年 6 月 2 日（土）午前 11 時 30 分より

場 所：大阪新阪急ホテル（大阪府大阪市北区芝田一丁目 1 番 35 号）

3. 平成 25 年度助成事業

（1）各種助成の募集の細目

平成 24 年 4 月 17 日開催の企画委員会での検討を経て、平成 24 年 5 月 17 日の第 1 回理事会（書面決議）および平成 24 年 6 月 2 日開催の定時評議員会で以下のよう

に決定した。

研究助成

募集テーマ：①間葉系幹細胞・基礎と臨床

②認知症・基礎と臨床

応募受付期間：平成 24 年 9 月 3 日から平成 24 年 10 月 31 日まで

専門委員：テーマ① 小澤 敬也（自治医科大学医学部教授）

梅澤 明弘（国立成育医療研究センター研究所副所長）

テーマ② 岩坪 威（東京大学大学院医学系研究科教授）

貫名 信行（順天堂大学大学院医学研究科教授）

育成助成および国際交流助成

応募受付期間：平成 24 年 9 月 3 日から平成 24 年 11 月 30 日まで

〔資料 2〕

(2) 募集

研究助成

全国の国公立医学系、薬学系、一部の理学系大学、研究機関および大学附設の研究施設 160 余を対象に募集要項を郵送するほか財団ホームページに公開した結果、応募数は計 52 件（テーマ①：36 件、テーマ②：16 件）であった。

育成助成

理事および評議員に候補者の推薦を依頼するとともに財団ホームページに公開した結果、応募数は 6 件（海外 5 件、国内 1 件）であった。

国際交流助成

理事および評議員に候補者の推薦を依頼するとともに財団ホームページに公開した結果、応募数は 6 件（招聘 5 件、海外派遣 1 件）であった。

(3) 選考

研究助成：三段階方式による選考

- 一．平成 24 年 11 月 12 日～12 月 13 日：テーマ別の選考委員および専門委員による第一次予備審査（書面）により第二次予備審査対象として 19 件（テーマ①：13 件、テーマ②：6 件）に絞られた。
- 二．平成 24 年 12 月 26 日～平成 25 年 1 月 23 日：選考委員および専門委員による第二次予備審査（書面）が行われた。

三. 平成 25 年 1 月 31 日：本審査（以下の通り）

育成助成および国際交流助成

一. 平成 24 年 12 月 26 日～平成 25 年 1 月 23 日：選考委員による予備審査（書面）により採点。

二. 平成 25 年 1 月 31 日：本審査（以下の通り）

平成 25 年 1 月 31 日：本審査

開催日時：平成 25 年 1 月 31 日（木）午後 6 時より

場 所：東京ジョンブル(東京都千代田区大手町 2-6-1 朝日生命大手町ビル)

選考委員および専門委員により平成 25 年度各種助成交付対象者(研究助成 10 件、1 件 300 万円、総額 3,000 万円，育成助成 6 件、1 件 120 万円、総額 720 万円および国際交流助成 5 件、1 件 28～40 万円、総額 188 万円)が選出され、理事長に答申された。

平成 25 年 3 月 1 日に開催された第 4 回理事会において、原案通り議決承認された。

なお、平成 25 年 3 月 4 日に育成助成 1 件の辞退の申し出があったため、事務局はこれを受理し理事長に答申を行い、選考委員長に報告した。

[資料 3]

4. 助成研究報告集等

平成 22 年度各種助成金受領者の研究成果として、研究助成報告、育成助成報告および国際交流助成報告等をまとめ、細胞科学研究財団助成研究報告集第 23 巻（2012）を平成 24 年 10 月 1 日に発刊し、全国の国公立医学系、薬学系、一部の理学系大学、研究機関、大学附設の研究施設および国会図書館等に送付した。

また、財団年報第 24 号（平成 23 年度）を平成 24 年 8 月 1 日に発刊し、上述の施設へ送付した。

5. 第 1 回塩野賞選考委員会

平成 24 年 7 月 18 日付で理事および評議員に対象となる当該研究者のリストを提供して候補者の推薦を依頼し、同年 8 月 31 日に推薦状の提出を締め切ったところ、17 名の理事および評議員から 10 名の推薦があった。これら受賞候補者として推薦された 10 名の中から最終候補者の選出を行なうよう同年 9 月 19 日付にて理事長

より選考委員長に審議を依頼したところ、同年10月18日(木)午後6時より東京ジョンブル(東京都千代田区大手町2-6-1朝日生命大手町ビル)において選考委員による選考委員会が開催され、平成6年度研究助成金受領者の間野博行氏がこの褒賞の趣旨に最も適していると判定され、平成25年3月1日の第4回理事会で決定した。

Ⅲ. 財団運営の概況

1. 第1回理事会

理事長は、理事及び監事の全員に対して理事会の決議の目的である事項について次の内容の提案書を発送し、平成24年5月17日までに理事の全員から同意する旨の意思表示を、また監事全員から異議がない旨の承諾を得て当該事項が承認可決された。

第1号議案 平成23年度事業報告及び決算の件

第2号議案 理事推薦の件

第3号議案 平成25年度各種助成募集に関する件

第4号議案 基本財産の件

第5号議案 基本財産及び特定資産管理規程制定の件

第6号議案 定時評議員会開催日、場所、目的である事項の件

2. 定時評議員会

開催日時：平成24年6月2日(土)午前11時より

場 所：大阪新阪急ホテル(大阪府大阪市北区芝田一丁目1番35号)

第1号議案 議長選任の件：互選により前田 孝氏が評議員会議長に選任された。

第2号議案 平成23年度事業報告及び決算の件：原案通り承認可決。

第3号議案 理事選任の件：原案通り承認可決された。

第4号議案 基本財産の件：原案通り承認可決された。

第5号議案 議事録署名人選任の件：議長のほか互選により近藤裕郷氏および大谷光昭氏が選任された。

3. 第2回理事会

開催日時：平成 24 年 6 月 2 日（土）午後 2 時より

場 所：大阪新阪急ホテル（大阪府大阪市北区芝田一丁目 1 番 35 号）

第 1 号議案 理事長及び常務理事選任の件：平成 24 年度定時評議員会において選任された理事の中から、塩野元三氏の理事長再任と武田禮二氏の常務理事再任について承認可決された。

第 2 号議案 株式購入の件：特定資産の一部を株式の購入に充当することについて、承認可決した。

報告事項 塩野賞に関する件：議長は塩野賞受賞対象者について、理事及び評議員に受賞対象者の推薦を依頼した。

報告事項 理事長及び常務理事の業務執行状況報告：理事長及び常務理事は平成 24 年度業務執行状況報告を行った。

4. 第 3 回理事会

理事長は、理事及び監事の全員に対して理事会の決議の目的である事項について次の内容の提案書を発送し、平成 25 年 1 月 21 日までに理事の全員から同意する旨の意思表示を、また監事全員から異議がない旨の承諾を得て当該事項が承認可決された。

第 1 号議案 規程制定について

第 2 号議案 規程改定について

第 3 号議案 役員を選任について

第 4 号議案 臨時評議員会開催とその目的である事項について

5. 臨時評議員会

理事長は、評議員の全員に対して評議員会の決議の目的である事項について次の内容の提案書を発送し、平成 25 年 2 月 13 日までに評議員の全員から同意する旨の意思表示を得て当該事項が承認可決された。

第 1 号議案 規程改定の件

第 2 号議案 役員を選任の件

6. 第 4 回理事会

開催日時：平成 25 年 3 月 1 日（金）午後 5 時より

場 所：塩野義製薬株式会社東京支店 4 階（東京都渋谷区渋谷 2 丁目 17 番 5 号）

第 1 号議案 平成 25 年度事業計画の件：原案通り承認可決。

第 2 号議案 平成 25 年度予算の件：原案通り承認可決。

第 3 号議案 平成 25 年度助成対象者の件：原案通り承認可決。

第 4 号議案 平成 25 年度選考委員改選の件：原案通り承認可決。

第 5 号議案 塩野賞受賞者決定の件：原案通り承認可決。

報告事項 理事長及び常務理事は平成 24 年 6 月 2 日以降の業務執行状況報告を行った。

5. その他

平成 24 年 4 月 1 日 財団法人細胞科学研究財団を解散し公益財団法人細胞科学研究財団の設立の登記（移行登記）を行った。

平成 24 年 4 月 10 日 厚生労働省大臣宛に移行登記完了を報告した。

平成 24 年 4 月 12 日 内閣府に移行登記完了届を Web 提出した。

平成 24 年 4 月 24 日 東税務署、府税事務所、市税事務所へ法人異動届を提出した。

平成 24 年 6 月 2 日 理事改選による登記を行った。

平成 24 年 6 月 6 日 厚生労働省大臣宛に平成 23 年度事業報告書および監事意見書を提出した。

平成 25 年 2 月 13 日 崎山文夫氏の理事辞任、川島康生氏の理事就任の登記を行った。

平成 25 年 3 月 13 日 内閣府に理事変更登記による変更届および役員報酬規程の変更届を Web 提出した。

平成 25 年 3 月 19 日 内閣府に平成 25 年度事業計画および予算の定期提出書類を Web 提出した。

IV. 附属明細書

[資料 1] 平成 24 年度各種助成金受領者名簿

[資料 2] 平成 25 年度各種助成募集要項

[資料 3] 平成 25 年度各種助成金交付者名簿

以上

平成 24 年度研究助成金受領者
(第 49 回理事会において議決)

(1 件 300 万円 10 件, 計 3,000 万円)

テーマ 1 : オートファジー・基礎と病態

研究者	所属機関・職名	研究題目
斉木 臣二 サイキ シンジ	順天堂大学医学部神経学	オートファゴゾーム・リソソーム融合を調節する低分子化合物同定とその作用機序解明、およびパーキンソン病治療への応用
佐藤 美由紀 サトウ ミユキ	群馬大学生体調節研究所 細胞構造分野	オートファジーによる父性ミトコンドリアの選択的分解のメカニズム
田中 敦 タナカ アツシ	東京医科歯科大学大学院 医歯学総合研究科細胞生理学分野	ミトコンドリア品質管理のためのオートファジーの役割
野田 健司 ノダ タケシ	大阪大学大学院医学系研究科遺伝学教室	オートファジー活性のファインチューニング機構の解明
森田 英嗣 モリタ エイジ	大阪大学微生物病研究所 分子ウイルス分野	プラス鎖 RNA ウイルス感染におけるオートファジー機構の役割
山口 修 ヤマグチ オサム	大阪大学大学院医学系研究科循環器内科学	心筋細胞におけるオートファジー性ミトコンドリア分解機構の解明と心不全発症に及ぼす影響の解明

テーマ 2 : 脂質メディエーター・基礎と臨床

研究者名	所属機関名・職名	研究題目
進藤 英雄 シンドウ ヒデオ	東京大学大学院医学系研究科細胞情報	新規生体膜リン脂質生合成酵素による脂質メディエーター産生、貯蔵メカニズムの解明
西 毅 ニシ ツヨシ	大阪大学産業科学研究所	輸送体によるスフィンゴシン 1 リン酸の局所濃度制御機構と生理的役割の解明
西村 智 ニシムラ サトシ	東京大学医学系研究科循環器内科	脂質メディエーターによる肥満脂肪組織における免疫賦活化機構の解析と新規バイオマーカーの探索
水岸 貴代美 ミズギシ キヨミ	京都大学医学部附属病院 血液・腫瘍内科	スフィンゴ脂質代謝異常による流産のメカニズムの解明と治療薬の開発

平成 24 年度育成助成金受領者
(第 49 回理事会において議決)

(1 件 120 万円 4 件, 計 480 万円)

研究者	所属機関名・職名	研究題目・留学先
勝野 蓉子 カツノ ヨウコ	東京大学大学院医学系研 究科分子病理学分野 特任研究員	癌における TGF- β シグナル伝達の分子メ カニズム University of California at San Francisco
川本 恵 カワモト メグミ	京都大学医学研究科薬剤 疫学分野	癌における IL-13R α 2 の役割と IL-13R α 2 をターゲットとしたイムノトキシンお よび DNA ワクチンの研究 Food and Drug Administration 米国連邦政 府食品医薬品庁(FDA)
下村 和範 シモムラ カズノリ	大阪大学大学院医学系研 究科整形外科学	間葉系幹細胞由来人工組織とナノファイ バースキャフォールドによる半月板再生 研究 Department of Orthopaedic Surgery, Center for Cellular and Molecular Engineering, University of Pittsburgh, USA
筒井 大気 ツツイ タイキ	富山大学大学院医学薬学 研究部 特別研究員	Regulation of gene expression by nuclear architecture University of California, San Diego (UCSD)

平成 24 年度国際交流助成金受領者
(第 49 回理事会において議決)

(1 件 40～50 万円 6 件, 計 279 万円)

(招聘)

招聘者名 所属機関	被招聘者名 所属機関	国際学会名・招聘研究機関名 (期間・開催地)
審良 静男 大阪大学免疫学 フロンティア研 究センター	Günter J. Hämmerling ギュンター ジェイ ヘマ リング ドイツ癌研究センター	第 41 回日本免疫学会学術集会 (2012 年 12 月 5 日～7 日・神戸国際会 議場)
岡崎 康司 埼玉医科大学 ゲノム医学研究 センター	Douglas C Wallace ダグラス シー ウォレス Center for Mitochondrial and Epigenomic Medicine, Pathology and Laboratory Medicine, University of Pennsylvania	第 10 回 RCGM フロンティア国際シンポ ジウム (平成 24 年 11 月 2 日～4 日・埼玉医科 大学 日高キャンパス 30 周年記念講堂)
加藤 忠史 理化学研究所 脳科学総合研究 センター	趙 新宇 ツァオ シンユウ Deptment of Neuroscience, University of Wisconsin-Madison	第 35 回日本神経科学大会 (平成 24 年 9 月 18 日～21 日・名古屋国 際会議場)
三宅 健介 東京大学医科学 研究所	Bruno Lemaitre ブルーノ ルメートル Ecole Polytechnique Fédérale de Lausanne (EPFL) Global Health Institute	第 12 回国際エンドトキシン自然免疫学 会学術集会・第 2 回自然炎症国際シン ポジウム・第 18 回日本エンドトキシン 自然免疫研究会合同集会 (平成 24 年 10 月 23 日～10 月 26 日・一 橋記念講堂)

(海外派遣)

研究者名	所属機関	国際学会名・招聘研究機関名 (期間・開催地)
谷口 陽祐	九州大学大学院薬学研究院	XX International Roundtable on Nucleosides Nucleotides and Nucleic Acids (2012 年 8 月 5 日～9 日・Montreal, CANADA)
藤田 貢	愛知県がんセンター研究所	2012 Society for Neuro-Oncology Annual Meeting (2012 年 11 月 15 日～18 日・ Washington, D.C.)

平成25年度研究助成募集要項

1. 研究助成の対象となるテーマ：

病因、病態の解明および疾病の予防、制御に寄与する細胞科学に関する研究。

但し、本年度の助成研究対象分野として下記のテーマを指定いたします。

①「間葉系幹細胞・基礎と臨床」

②「認知症・基礎と臨床」

2. 助成金額：

300 万円／1 件

採択件数：

10 件以内

3. 応募資格：

応募時満 45 才未満の独立した研究者

(大型研究費を受けておられる方はご遠慮下さい)

4. 応募方法：

(1) 所定の用紙(申請書および推薦状)をホームページからダウンロードしていただくか、あるいは下記の連絡先にご請求下さい。

(2) 必ず、所属機関の長(学長、学部長、学校長、所長、病院長、センター長等)あるいは所属部門の長(教授、部長、専攻長等)の推薦を得てください。

推薦者は1名に限り推薦できます。ただし、推薦者が複数の機関に所属し役職を有する場合には、それぞれの所属機関あるいは所属部門から1名に限り推薦できます。

(3) 申請書に必要事項を記入し、推薦状と共に下記の連絡先まで郵送して下さい。

(4) 受け付け後、直ちに申請者へ e-mail にて返信しておりますが、投函後一週間を経てもそれが届かない場合には、下記の連絡先にお問い合わせ下さい。

5. 応募受付期間：

平成 24 年 9 月 3 日(月)より 10 月 31 日(水)必着

6. 選考方法：

当財団選考委員会において選考し、理事会で決定いたします。

7. 報告義務：

収支報告および研究成果の概要を提出していただきます。

8. 情報公開について：

助成対象者のお名前、ご所属、研究題目等を当財団ホームページ等で紹介させていただきます。研究成果は当財団刊行の研究報告集で公表いたします。

9. 採否通知および助成金の交付について：

採否は、決定後直ちに申請者へお知らせいたします。助成金は、平成 25 年 4 月以降に贈呈いたします。

10. 連絡先：

公益財団法人細胞科学研究財団

〒541-0045 大阪市中央区道修町 3 丁目 1 番 8 号

TEL : 06-6202-2139

FAX : 06-6202-1996

URL : <http://www.shionogi.co.jp/zaidan/>

平成25年度育成助成募集要項

1. 育成助成対象者： 病因、病態の解明および疾病の予防、制御に寄与する細胞科学に関する研究を専門とする日本人の研究者で、国内外において更に高度の育成を受けようとするもののうち次の条件を満たす者とします。
 - イ. 当財団理事または評議員の推薦を受けた者
(各理事または評議員は1名に限り推薦できます)
 - ロ. 応募時の年齢が満35才以下の研究者
(同一の研究において他財団との助成金の重複を認めません)
 - ハ. 受入れ大学または学術研究機関が決定し、年度内(平成25年4月以降平成26年3月末までの間)にその育成の開始が予定されている者(国内育成に関しては、他大学または学術研究機関での育成を受ける場合に限りです)
 - ニ. 留学先および留学期日の変更は認められません。改めて申請して下さい。
2. 給付金額： 1件120万円/年
採択件数： 6件程度
 3. 給付期間： 1年間
 4. 応募方法：
 - (1) 所定の用紙をホームページからダウンロードしていただくか、あるいは下記の連絡先にご請求下さい。
 - (2) 申請書に必要事項を記入し、推薦状の他必要書類と共に下記の連絡先まで郵送して下さい。
 - (3) 受け付け後、直ちに申請者へ e-mail にて返信しておりますが、投函後一週間を経てもそれが届かない場合には、下記の連絡先にお問い合わせ下さい。
 5. 応募受付期間： 平成24年9月3日(月)より11月30日(金)必着
 6. 選考方法： 当財団選考委員会において選考し、理事会で決定いたします。
 7. 報告義務： 収支報告および留学報告書を提出していただきます。
 8. 情報公開について： 助成対象者のお名前、ご所属、研究題目等を当財団ホームページ等で紹介させていただきます。研究成果は当財団刊行の研究報告集で公表いたします。
 9. 採否通知および助成金の交付について：

採否は、決定後直ちに申請者へお知らせいたします。助成金は、平成25年4月以降に贈呈いたします。
 10. 連絡先：

公益財団法人細胞科学研究財団
〒541-0045 大阪市中央区道修町3丁目1番8号
TEL：06-6202-2139
FAX：06-6202-1996
URL：<http://www.shionogi.co.jp/zaidan/>

※ご提供いただきました個人情報につきましては、選考に関わる目的のみに利用させていただきます。

平成25年度国際交流助成募集要項

1. 国際交流助成対象者： 病因、病態の解明および疾病の予防、制御に寄与する細胞科学に関する研究を専門とする研究者で、次の条件を満たす者といたします。
 - イ. 当財団理事または評議員の推薦を受けた者
(各理事または評議員は1名に限り推薦できます)
 - ロ. 博士号を有するか、またはそれと同等以上の研究業績を有する者
 - ハ. 年度内(平成25年4月以降平成26年3月末までの間)に開催される細胞科学に関連した国内外での国際学術会議、シンポジウムに講演者として招聘されるかまたは重要な研究発表を行う海外もしくは国内在住の研究者
 - ニ. 国際間における共同研究またはそのための協議等も上記学会への参加に準ずるものといたします。
2. 助成金額： 20～50万円／1件
採択件数： 4件程度
(助成額は学会への寄与の程度、開催地の遠近、開催期間の長短等を勘案して決定されます。希望助成額のおおまかな内訳をご記入下さい)
 3. 応募方法：
 - (1) 所定の用紙をホームページからダウンロードしていただくか、あるいは下記の連絡先にご請求下さい。
 - (2) 申請書に必要事項を記入し、推薦状の他必要書類と共に下記の連絡先まで郵送して下さい。
 - (3) 受け付け後、直ちに申請者へe-mailにて返信しておりますが、投函後一週間を経てもそれが届かない場合には、下記の連絡先にお問い合わせ下さい。
 4. 応募受付期間： 平成24年9月3日(月)より11月30日(金)必着
 5. 選考方法： 当財団選考委員会において選考し、理事会で決定いたします。
 6. 報告義務： 収支報告および学会出張報告書等を提出していただきます。
 7. 情報公開について： 助成対象者のお名前、ご所属等を当財団ホームページ等で紹介させていただきます。講演内容あるいは研究成果は当財団刊行の研究報告集で公表いたします。
 8. 採否通知および助成金の交付について：
採否は、決定後直ちに申請者へお知らせいたします。助成金は、平成25年4月以降に贈呈いたします。
 9. 連絡先：
公益財団法人細胞科学研究財団
〒541-0045 大阪市中央区道修町3丁目1番8号
TEL：06-6202-2139
FAX：06-6202-1996
URL：<http://www.shionogi.co.jp/zaidan/>

※ご提供いただきました個人情報につきましては、選考に関わる目的のみに利用させていただきます。

平成 25 年度 研究助成金受領者
(第 4 回理事会において議決)

(1 件 300 万円 10 件, 計 3,000 万円)

テーマ 1 : 間葉系幹細胞・基礎と臨床

研究者	所属機関・職名	研究題目
齋藤 敦 サイトウ アツシ	広島大学大学院医歯薬保健 学研究院分子細胞情報学・ 助教	間葉系幹細胞から骨・軟骨細胞への分化にお ける小胞体ストレス応答の役割
福嶋 五月 フクシマ サツキ	大阪大学大学院医学系研究 科心臓血管外科・助教	間葉系幹細胞による同種 iPS 細胞由来心筋 細胞移植治療における免疫寛容誘導法の開 発
前田 真吾 マエダ シンゴ	鹿児島大学大学院医歯学総 合研究科医療関節材料開発 講座・特任准教授	間葉系幹細胞からの骨芽細胞・脂肪細胞・軟 骨細胞の分化選別におけるインプリンティ ング遺伝子 Peg10 の役割の解明
升田 博隆 マシダ ヒロタカ	慶應義塾大学医学部産婦人 科学教室・助教	子宮内膜間葉系幹細胞を通じた子宮内膜症 の解明と新規治療法の開発
三浦 康生 ミウラ ヤスオ	京都大学医学部附属病院輸 血細胞治療部・助教	間葉系幹細胞の異常病態の解明と治療標的 としての白血病制御に関する研究
山原 研一 ヤマハラ ケンイチ	独立行政法人国立循環器病 研究センター再生医療部・ 室長	卵膜由来間葉系幹細胞の免疫制御効果を利用 した細胞治療の早期臨床応用を目指した 研究

テーマ 2 : 認知症・基礎と臨床

研究者	所属機関・職名	研究題目
石浦 浩之 イシウラ ヒロユキ	東京大学医学部附属病院神 経内科・助教	アルツハイマー病罹患同胞対のエクソーム 解析による疾患関連遺伝子の同定
斉藤 貴志 サイトウ タカシ	理化学研究所脳科学総合研 究センター神経蛋白制御研 究チーム・副チームリーダー	アルツハイマー病の発症機構に関する研究
富田 泰輔 トミタ タイスケ	東京大学大学院薬学系研究 科臨床薬学教室・准教授	遺伝学的アルツハイマー病危険因子がもた らす分子病態の解明
羽田 沙緒里 ハタ サオリ	北海道大学大学院薬学研究 院神経科学研究室・助教	アルツハイマー病関連タンパク質のγセク レターゼ切断解析による発症機構の解明

平成 25 年度 育成助成金受領者
(第 4 回理事会において議決)

(1 件 120 万円 5 件, 計 600 万円)

(海外)

研究者	所属機関名・職名	研究題目・留学先
梅原 敬弘 ウメハラ タカヒロ	長崎大学大学院医歯薬学 総合研究科・助教	創傷治癒・再生の分子メカニズム解明による創傷時期推定の法医学実務への応用 The University of Manchester, The Healing Foundation Centre
田中 太晶 タナカ タカキ	大阪大学大学院医学系研究科・大学院生	Molecular mechanism of breast cancer bone metastasis Invasion and Metastasis Unit, St. Vincent's Institute and University of Melbourne Department of Surgery
原園 陽介 ハラゾノ ヨウスケ	東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科・大学院生	新規癌幹細胞誘導因子の探索と PGI/AMF との関連 Barbara Ann Karmanos Cancer Institute, Wayne State University
宮崎 秀幹 ミヤザキ ヒデキ	東京大学大学院医学系研究科・大学院生	血管の周囲細胞による被覆における PDGFR β の腫瘍特異的な効果について / 血管内皮におけるインテグリン αv / NF κ B シグナルと他シグナルの相互作用について Lund University

(国内)

研究者	所属機関名・職名	研究題目・留学先
森本 亮 モリモト リョウ	東京大学大学院医学系研究科・大学院生	血小板活性化因子合成酵素活性化に至る細胞内シグナリングの解析 国立国際医療研究センター

平成 25 年度 国際交流助成金受領者
(第 4 回理事会において議決)

(1 件 28～40 万円 5 件, 計 188 万円)

(海外派遣)

研究者名	所属機関	国際学会名・招聘研究機関名 (期間・開催地)
風間 逸郎 かま いたろう	東北大学大学院医学系研究 科細胞生理学分野	American Society of Nephrology Kidney Week 2013 (2013 年度アメリカ腎臓学会) 2013 年 11 月 5 日～10 日 Atlanta (米国、ジョージア州)

(招聘)

招聘者名 所属機関	被招聘者名 所属機関	国際学会名・招聘研究機関名 (期間・開催地)
糸原 重美 (独)理化学研究 所脳科学総合研究 センター)	Fred H.Gage Salk Institute for Biological Studies	Neuro2013 (日本神経科学学会、日本神経化学会 および日本神経回路学会合同大会) 2013 年 6 月 20 日～23 日 京都府京都市
小安 重夫 (慶應義塾大学医 学部)	Ellis L. Reinherz ハーバード医科大学	6th International Workshops of Kyoto T Cell Conference (第 6 回国際京都 T 細胞カンファレン ス (KTCC2013)) 2013 年 6 月 3 日～7 日 京都府京都市
清野 宏 (東京大学医科学 研究所)	Gerard Eberl Institut Pasteur	第 42 回日本免疫学会学術集会 2013 年 12 月 11 日～13 日 千葉県千葉市
宮園 浩平 (東京大学大学院 医学系研究科分子 病理学分野)	Rik Derynck カリフォルニア大学サンフ ランシスコ校	第 86 回日本生化学会大会 2013 年 9 月 10 日～14 日 神奈川県横浜市